

令和4年4月24日土～8月29日日

会場

安田まちなみ交流館・和

(高知県安芸郡安田町大字安田1674番地1)

時間

午前9時～午後5時

観覧料

200円(高校生以下および障害者手帳提示者は無料)

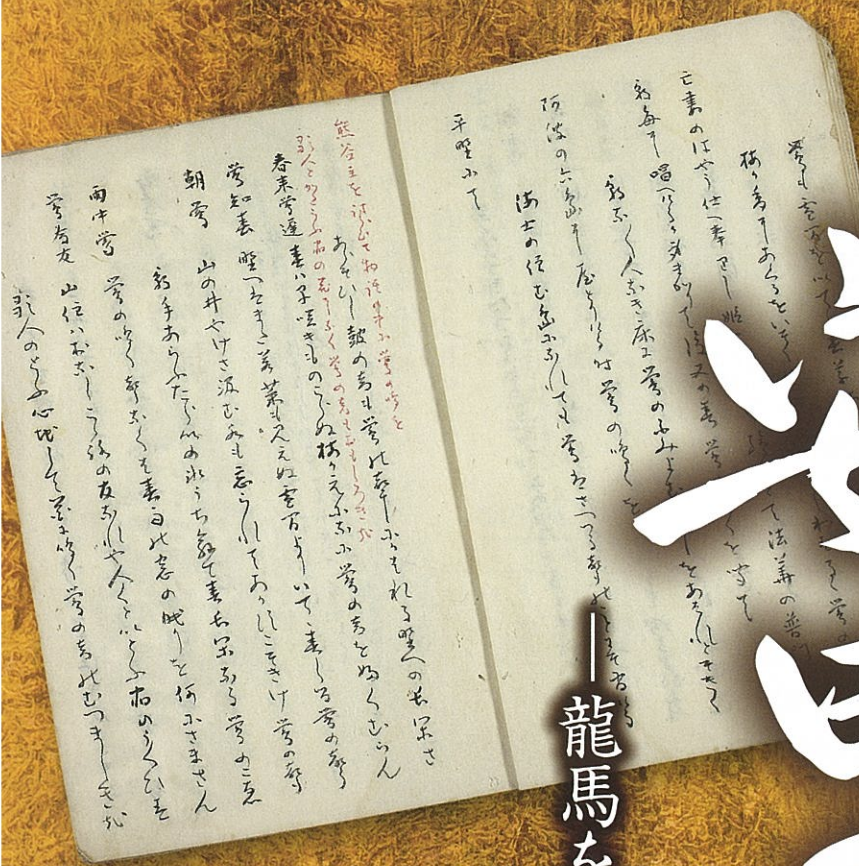
休館日

火曜日(祝日の場合翌営業日)



安田の高松家

龍馬を支え、その遺志を継いだ人たち――



高松順蔵著『採樵歌』全4巻
(安田町教育委員会蔵)



主催 安田町、安田町教育委員会
後援 株式会社東京映画社、高知新聞社、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、エフエム高知

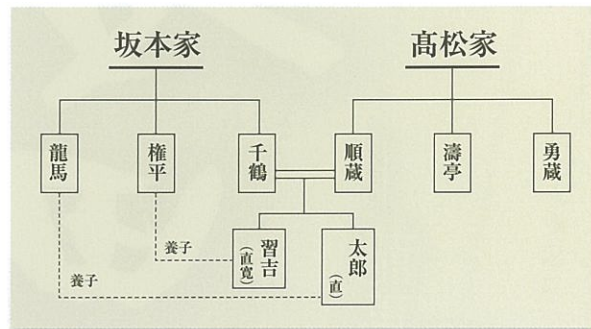
安田の高松家

— 龍馬を支え、その遺志を継いだ人たち —

龍馬は義兄・順蔵と長姉・千鶴を慕い、たびたび安田の高松邸を訪れていたという。

安田の高松家の人たちは、若き日の龍馬を支え、龍馬の遺志を継いだ人々であった。

本企画展では、高松家のルーツや龍馬の長姉・千鶴の夫である順蔵と弟で医師の濤亭、龍馬の遺志を継いだ順蔵の長男・太郎（坂本直）、次男・習吉（坂本直寛）ら高松家と坂本家の関係を紹介。



高松順蔵・千鶴の墓（安田町）



『坂本直寛』



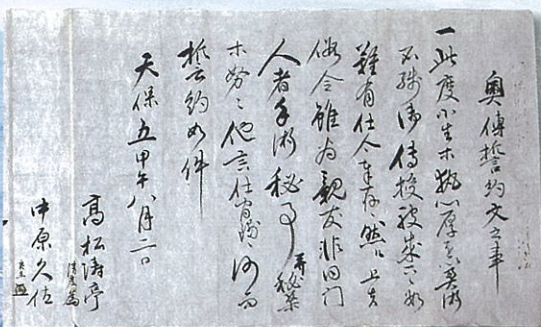
ガラス湿版『坂本太郎』（安田町教育委員会蔵）

龍馬を支えた人たち

順蔵は、絵画や和歌等をよく嗜み、安芸郡の勤王の志士をはじめ多くの門下生を育てた教養人であり、居合の達人という文武両道の人物であった。またその弟・濤亭は土生玄碩や華岡青洲に学んだ高名な医者であった。

龍馬の遺志を継いだ人たち

順蔵と千鶴の長男・太郎は、叔父の龍馬が結成した海援隊に参加。明治維新以降は勅命により龍馬の遺跡養子となり坂本龍馬家を再興した。次男・習吉は、龍馬の兄・権平の養子となつて郷土坂本家を継承、龍馬の遺志を継いで北海道に入植し、北海道開拓の父の一人とも呼ばれている。



『奥伝誓約文之事』（医聖華岡青洲顕彰会）



安田まちなみ交流館・和（なごみ）

住所／高知県安芸郡安田町大字安田1674番地1

時間／9:00～17:00

休館日／火曜日（祝日の場合翌営業日）

お問い合わせ／TEL.FAX.0887-38-3047

〔Access〕 高知ICから車で90分

土佐くろしお鉄道安田駅から車で5分

●90-minute drive from KOCHI IC

●5-minute drive from Yasuda Sta.



NAGOMI Web